

## Express5800/100 シリーズ用 無停電電源装置 (I-UPS) 運搬時のご注意

(N8580-26/26A/27/27A)

**前面パネル部に手をかけて運搬すると、I-UPS(I-UPS 用増設バッテリーも含む)の前面パネルカバーが外れ怪我をする危険があります。**

Express5800/100 シリーズ用の無停電電源装置(I-UPS)におきましては、前面パネル部に手をかけて運搬を行いますと、前面パネルカバーが外れて I-UPS 本体が落下し怪我をする恐れがあることが判明しました。

幸いなことに現在まで事故が発生したなどの報告を受けておりませんが、今後このような事故が発生する危険性がありますので、以下の内容を十分ご理解の上、対応をお願い致します。

なお、安全に運搬作業を行うよう注意事項を記載した“運搬注意メモ”と、I-UPS 本体に“注意ラベル”を貼り付け、更に前面パネル部内側の金具を交換し、事故を防止するよう対策を取らせていただいております。

**本対策の適用につきましては、NEC フィールディングおよび弊社自営保守販売店までご相談願います。**

### 対象装置

以下の装置が対策実施対象となります。

2000.02.01 以降に出荷される I-UPS は、既に対策実施していますので対象外となります。

装置名	装置コード(N型番)	販売期間
無停電電源装置(1250VA)用増設バッテリー	N8580-26	1997.02.03 ~ 2000.01.31
無停電電源装置(1250VA)用増設バッテリー	N8580-26A	1999.01.05 ~ 2000.01.31
無停電電源装置(1250VA)	N8580-27	1997.02.03 ~ 2000.01.31
無停電電源装置(1250VA)	N8580-27A	1999.01.05 ~ 2000.01.31

### 対応内容

現在、ご使用いただいている I-UPS には、下記を実施することで対策します。

注意ラベルの変更

運搬作業者に注意を促すよう、I-UPS 本体に貼付られている現状の注意ラベルに、運搬時の注意を追記しました。(以下の注意ラベルを参照ください。写真は N8580-27/27A 用です)

現状の注意ラベルを新規の注意ラベルに貼り替えさせていただきます。



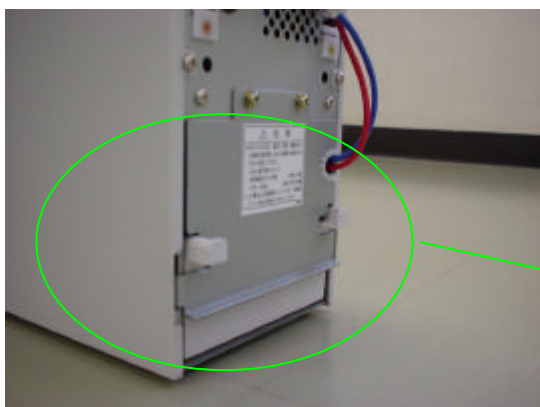
写真1 : 現状の注意ラベル



写真2 : 新規の注意ラベル

新金具の交換

運搬作業者が運搬時に、前面パネルカバーに手を掛けないよう構造改善を施した金具に、交換させていただきます。



下部に前面パネルをカバー  
する金具がない

写真3 : 現状



つばが底面まで至り、且つ前  
面パネルカバーの下部外形部と  
同形状のものを取り付けた

写真4 : 新金具



前面パネルカバーの下部を手で持っ  
ても前面パネルカバーに直接触らない。

写真5 : 新金具取付後の前面パネル部

## 「別紙」 - I-UPS の正しい持ち方について -

I-UPS は、正しい持ち方での運搬を行ってください。  
誤った持ち方（危険な持ち方）で、運搬されると怪我をする恐れがあります。

### 前面パネルカバーが外れた状態

I-UPS 前面パネルカバーに手をかけるとパネルが外れて I-UPS 本体が落下し怪我をする危険があります。（写真 1 参照）



写真 1：前面パネルが外れた状態

### 正しい持ち方

I-UPS 本体底面の奥まで手を入れて、底面部を持って運搬してください。

また重量(26kg)がありますので二人以上で運搬して下さい。（写真 2 参照）

尚 N8580-26/26A は重量(35kg)ありますので三人以上で運搬して下さい。（次ページ写真 4 参照）



写真 2：正しい持ち方

### 危険な持ち方

前面パネルカバー部の下部のみに手を掛けると、持ち上げた際に前面パネルカバーが簡単に外れ、I-UPS 本体が落下する恐れがあり危険です。

また、重量(26kg)がありますので 2 人以上で運搬して下さい。（N8580-26/26A は重量(35kg)です。）

無理をして 1 人で持つと腰を痛める可能性もあり、又前面パネルカバーの下部のみに手がかかる可能性が高くなります。

二人で運搬される場合においても、パネル側を持つ人の手がパネルにしか掛かっていないと、前面パネルカバーが簡単に外れ、I-UPS が落下し危険です。（写真 3 参照）

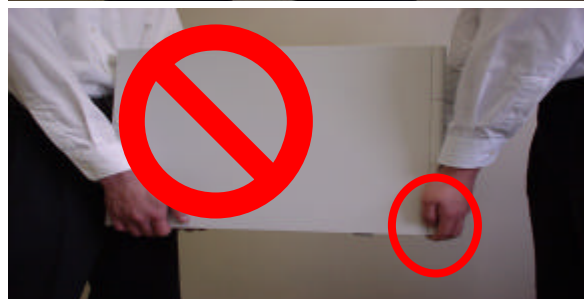


写真 3：危険な持ち方

**\*N8580-26/26A の正しい持ち方**



**写真4 : N8580-26/26A の正しい持ち方**